

ウクライナ危機をテーマに全国セミナー(特別プログラム)を開催

4月14日に第34回全国経済同友会セミナー(以下、全国セミナー)特別プログラムを開催した。全国セミナーは全国44経済同友会にて、各地の交流と相互の連携強化を目的に開催している。今回は神戸市でのリアル開催予定であったが、コロナ感染拡大により見合わせ、急きょ、テーマを「ウクライナ危機:変貌する世界秩序と世界経済~日本の針路を考える~」に変更し、東京を拠点に、オンライン(非公開)にて実施した。

まず、小野寺五典元防衛大臣が「ウクライナ危機が示した世界秩序の動揺

と題した基調講演を行った。その後、吉崎達彦双日総合研究所チーフエコノミストをモデレーターに迎え、大島眞彦三井住友銀行取締役副頭取、鈴木善久伊藤忠商事副会長、田川丈二日産自動車専務執行役員、寺澤達也日本エネルギー経済研究所理事長の4人のパネリストが経済への影響と日本の対応について意見交換を行った。討議終了後、市川晃全国セミナー企画委員長が、「戦争の早期終結を信じつつ、自らの事業運営を通じて健全な経済活動をけん引し、世界経済の安定成長に寄与し続け

たい」と、メッセージを発信した。

次回(2023年4月)開催地挨拶として、森拓二郎長崎経済同友会代表幹事がビデオメッセージで現地(長崎)への参加を呼び掛けた後、古市健関西経済同友会代表幹事の挨拶をもって閉会した。



櫻田代表幹事、ワクチン接種促進に向け松野大臣らと会談

5月12日、松野博一ワクチン接種推進担当大臣、佐藤英道厚生労働副大臣兼内閣府副大臣が来訪され、櫻田謙悟代表幹事、岡野貞彦事務局長と会談した。松野大臣からは「社会経済活動を回復させていくためにワクチンの接種を進めることは大変重要である。全人口に対する3回目の接種率については、55%に達しているが、一方で20歳代や30歳代の接種率は4割に届いていない状況だ。日本も何とか60%台にもっていききたい。従業員の方が安心して接種できるよう、ワクチン接種に関する休

暇などの取り扱いについて、あらためて会員企業・団体に周知をお願い申し上げる。企業と行政が連携して、医療のひっ迫を避けながら社会経済活動を動かしていきたい」と語った。

これを受けて櫻田代表幹事からは、「経済・社会活動を継続・活性化する上で、ワクチン接種は大きな決め手になる。ワクチン接種に関する相談窓口の活用、大規模接種センターでの企業単位の団体接種の積極的利用、ワクチン接種にかかわる休暇制度の導入などについて会員各位に周知、働き掛けを行っ



(右手前から)松野博一大臣、佐藤英道副大臣、(左手前から)櫻田謙悟代表幹事、岡野貞彦事務局長

ていきたい。若者の3回目接種率の伸び悩み、その打開に向け、インセンティブ付与・PRの検討をされてはどうか」と提案した。

No.848 May 2022 経済同友会 5

C O N T E N T S

特集

2022年度
通常総会・代表幹事所見 03

CLOSE-UP 提言

環境・エネルギー委員会【意見】
栗原 美津枝 委員長
議論のゴールと時間軸を設定し、
カーボンライジングの検討を加速せよ 12

データ戦略・デジタル社会委員会【提言】
寺田 航平 委員長
デジタル社会の基盤となるマイナンバーの
一層の活用でデータ連携と利活用の拡大を 14

規制・競争政策委員会【提言】
間下 直晃 委員長
働き方や会計・税務を見直し、
スタートアップのさらなる成長曲線を描く 16

成長戦略評価・実行委員会【中間提言】
峰岸 真澄 委員長
実効性ある成長戦略の策定と
着実な実行に向けた問題提起 18

Doyukai Report

第1期ノミネートメンバー講演会
メディア・ビッグバンと日本メディアの進化 20
経済同友会・同友クラブ共催2021年度会員懇談会
リチウムイオン電池が拓く未来社会 23

関西経済同友会幹部との
意見交換会(東西懇談会)開催 24

Seminar

第1349回 会員セミナー
アルツハイマー病の超早期診断・治療による
認知症克服に向けて
岩坪 威 氏 東京大学大学院医学系研究科 教授 26

第1350回 会員セミナー
中国デジタル化の展望と日本企業への示唆
—プラットフォームの戦略転換
岡野 寿彦 氏 NTTデータ経営研究所 シニアスペシャリスト 27

Column

私の一文字 新芝 宏之 02
「時代の『関門』」

リレートーク 辻 庸介 11
「社会を前へ」

私の思い出写真館 大岡 哲 31
「禪にふれて」

新入会員紹介 28
ウクライナ危機をテーマに
全国セミナー(特別プログラム)を開催
櫻田代表幹事、ワクチン接種促進に向け
松野大臣らと会談 30